

# ★前節の★ベストプレイヤー★

## DF・林堂 眞(4年)

### ～試合後コメント

後半が前半通りに出来なくて、悪循環になってしまった。FWだからDFをしないとかそういうのではなく、チーム全体で戦っていく形を明確にしないといけない。(後半には)風向きが変わって、考え方も変わってしまって食い違っていた。風下なんだから攻められると分かっているけど、気持ちをコントロール出来ていなかった。勝つしかない。学年関係なく、うちのサッカーを頑張れる選手を使っていくしかない。

コマスポ編集部が独自で選ぶベストプレイヤー。今回の選手は、林堂眞選手です。今季、主将としてチームを牽引している林堂眞選手。「自分のキックは見て欲しい」と、自信を持つ程のそのキックは、まさに巧みである。この日の試合でも、28分に絶好の位置でFKを得ると、得点とはならなかったが素晴らしいシュートをみせた。守備でも、競り負けない高さで、幾度となく相手の攻撃を阻止した。4失点という結果ではあるが、自身の仕事は十分に果たした。



## 初出場選手紹介

- ・ 磯部裕基 (1年) 写真⇨右下
- ・ 畦地健太 (2年) 写真⇨右上
- ・ 矢野裕貴 (4年) 写真⇨左



ここで紹介するのは、前節・対専修大戦で今季リーグ初出場を果たしたMF 矢野選手、FW 畦地選手、FW 磯部選手の3選手。

まずは矢野選手。スピードを生かし裏に抜けるプレーを得意とし、この日も、ライン際まで諦めずにボールを追いかけ、「流れを変えられるようなプレーを」と、最後まで気迫をみせた。

次に畦地選手。高評価を受けるキープ力の持ち主は、積極的な攻撃をみせた。会場を沸かせたのは82分、左サイドをドリブルで駆け上がると、アシストとはならなかったが見せ場をつくった。

最後は磯部選手。Iリーグでその実力を発揮すると、一年生にして出場機会を掴んだ。小柄な体格ながら、優れたボールコントロールで果敢にゴールを目指した。



## 監督コメント

前半は風の影響もあったが攻めることが出来た。後半は受け身になってしまった。相手が3トップで、両サイドが開いたときに寄せるのが遅かった。これを前半は出来ていた。後半の早い時間に選手を変えようと思って準備していたが、その前に失点してしまいズルズルいってしまった。最初の3点全部同じ形で決められていた。大事なところでキーパーが仕事を出来ない。全体的にもまず競り勝てない。今日は林堂しかまともに競り勝てていなかった。

ディフェンス力に問題がある。まず、ポジショニングが弱い。そこから徹底してやり直していく。すぐには無理だと思う。リーグ中盤あたりから勝ち点を積み重ねていく。

